



地方で夢を実現したい、農業で田舎暮らしを実現したい そんな方々の支援もあります。

新たに農業を始めたい方へ

新規就農者支援事業

農業従事者の高齢化や後継者不足などによる農業の衰退や耕作放棄地の拡大が懸念されています。
新たな農業担い手を確保することにより、地域農業の振興、活性化を図るという目的で、新たに農業を始める方に**就農補助金**を助成しています。



詳細はこちら

新たに起業したい方へ

創業事業費補助金

起業による雇用の創出、町の活性化、定住促進を図るため、新たに町内で起業する方に**費用の一部**を助成します。



詳細はこちら

REAL VOICE

移住・就農・起業の先輩のお話！

ナンブピト 01 田中 広大さん・綾乃さん



鳥取県から家族での移住を決意！

南部町で生まれ育ち、一度は町外に出てみたいという気持ちがあり、鳥取大学に進学。そこで、芸術を通じた地域活性化について学んでいた綾乃さんに出会い結婚。鳥取県内で就職しました。大学時代にゲストハウスに滞在しながら養蜂場で働いた経験などを通じて、地元での就農への思いが強くなり、2019年3月に故郷である南部町に家族でUターンしてきました。現在の住まいは、町の空き家バンクで見つけた物件で、大工だった祖父の手を借りながら自分たちで家を改修して家族4人で暮らしています。

営農大学校や地域の農家さんから農業のノウハウを学ぶ

現在は、夫婦で本格的な農業のスタートに向けて準備を進めています。営農大学校に通いながら研修先の農家さんからミニトマトの栽培方法を学んでいます。実家が果樹やミニトマトを栽培しているので、将来は実家の農業を継ぎ、自分なりに新しい形を作っていきたいです。

町の農業環境のピンチをチャンスに！

南部町も農業者の高齢化が進んでいて、耕作放棄地が年々増えてきていることをひしひしと感じます。そんな中で地域の人たちとうまく繋がれば、農業を始めたい若い人たちには沢山のチャンスが転がっていると思います。

ナンブピト 02 ECCジュニア南部町教室 ツクダしのぶさん



南部町で英語教室を開校

アメリカカリフォルニア州から家族で南部町へUターンし、英語教室を開校。最初はアルバイト感覚で始めたつもりが、予想以上にたくさんの方々に受講いただいて、今はフルタイムの仕事として、子どもから大人まで幅広い方々に英語を教えています。

町の補助金を活用・田舎ならではの魅力も

都市部での創業は、諸経費や他企業との差別化など様々なハードルがあるかと思います。自営業を始めたいと考えている方には、南部町は、都市部に比べて土地代や諸経費も抑えられ、様々な業種においてチャンスがあると思います。

子育てしやすい環境

町の子育て支援制度が充実していることが南部町への移住を後押ししてくれました。また、地域の方々に子どもの通学路の見守りをしていただくなど、子育てしやすい環境だと感じています。

ナンブピト 03 合同会社南部どき 代表 根市 大樹さん



故郷に貢献したいという思いで創業を決意

以前、新聞記者として働いていた時に、地域の抱える農業課題である農地問題や後継者不足などを取材し、自分もその問題の当事者なんだと感じました。これからは故郷に貢献したいと思い、出身地の南部町での創業を決意しました。

倉庫をリノベーションしてカフェをオープン！

町の創業事業費補助金を活用して、剪定後の枝を活用した燻製製品の開発や、倉庫をリノベーションしたカフェを開業し、夫婦二人三脚で働いています。カフェには、毎日立ち寄ってくれるおじいちゃんおばあちゃんもいれば、SNSを通じて県内外各地から幅広い世代の方に訪れていただいているのが嬉しいです。

家族との時間を大切に子育てしやすい環境をつくる

夫婦で今後の生活の在り方を考えたとき、子育てや家族での生活に重点を置いていきたいという考えに至りました。子育ては両親の手を借りながらも、自分たちでもできるだけ多くの時間を子どもたちと過ごせるような環境づくりを心がけています。

若者が戻ってきやすいエリアに

この地域で「実家の家業を継ぎたい」と言ってくれた大学生がいました。今後はそのような若者をエリア全体で支え、地元に戻って来やすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。地域の若者には、ぜひ自分の価値観を大切に、やりたいことに命を燃やせるような仕事をしてもらいたいです。